

# 最初の指導を少人数で

■校種・学年 : 小学校以上

■活用の概要 :

ICT端末の操作方法をクラス一斉に指導するのは大変で、対応するには複数の教師が必要となる。その大変さを解消するために、基本的な操作を休憩時間を利用して指導していった。児童生徒と教師が、共にICT端末の基本的な使い方についての意識を高める雰囲気生まれた。

○指導する内容

- ・ログインする
- ・共有フォルダを表示し、アクセスする
- ・コメントを投稿する
- ・ログアウトする

○運営について

- ① 事前に、誰が参加するのか各クラスで決めてもらい、担当が集約する。
- ② 参加人数分のICT端末とアカウント情報カードを準備する。
- ③ 体験する。

これをくり返し、クラス・学年全員が体験できるように行った。  
(体験をしたメンバーは記録しておく)

■準備するもの

- ・人数分のICT端末
- ・アカウント情報カード
- ・操作マニュアル

休み時間の  
指導



基礎的スキルの  
向上



ICTを介した  
学び合い



20分の休み時間で、1クラス5名×4クラス=20名を教師2名で指導した。操作が得意な生徒や先に操作ができた児童生徒が、まだできていない児童生徒に操作方法を教えていた。上手に指導していくことで、自然と教え合う雰囲気がつくれる。教え合いの風土は、一斉指導のときにも生きる。

■アドバイザーからのコメント

休み時間等の短時間であっても、簡単な操作ならいくつか教えることができます。操作ができる児童生徒を少しずつ増やしていけば、一斉指導のときに何かと助かります。

また、この指導をしていく中で、どのように使い方を教えていくと効率が良いのか、児童生徒はどこで困るのかなどの様子が具体的に分かるので、一斉指導の際に役立てることが出来ます。



- ・ログイン
- ・ドライブを表示する
- ・学習支援ソフトに参加
- ・コメントを投稿
- ・ログアウトをハンズオン。